

業種	バス
取組分野	事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用
テーマ	車内事故削減の取組み
取組の狙い	ドライブレコーダーやデジタルタコグラフを活用した運転士教育の取組み
具体的内容	<p>① ドライブレコーダーによる車内事故の検証、分類を実施。形態別に防止方法を運転士が討議し、円滑な運転操作により、事故を抑制することを決定した。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[急発進 急加速 急減速 急制動] --> B[発進時転倒 離席時転倒 停車時転倒] B --> C[なめらか発進 エンジン回転数抑制 惰性運行 なめらか制動] </pre> </div> <p>② ドライブレコーダーの事故映像を事例として紹介。衝撃映像を見せることで、「しなくてはならない事」「してはならない事」の区別を自ら考える教育を実施した。</p> <p>③ 毎日の就業点呼時に、安全管理者と各運転士が前日のデジタルタコグラフの散布図により、「滑らかな発進」と「滑らかな停車」ができているかの確認を続け、急発進、急加速の運転操作改善を図った。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>【指導前】 ※ 横軸：エンジン回転数 縦軸：速度 青色は頻度が低いこと、赤色は頻度が高いことを示しており、指導後の中央寄りの散布図は、急加速、急減速が減少し、安定した走行ができていることを示している。</p>
取組の効果	<p>① 車内の有責事故が減少した（年度は10月から9月）</p> <p>平成26年度 発生件数28件、有責事故15件</p> <p>平成27年度 発生件数23件、有責事故 3件（80%減）</p> <p>※平成27年9月15日現在</p>

	② 燃費が改善された（発進方法と惰性運行による効果） 対前年比 108%（1リッターあたりの走行距離）
事業者名	九州産交バス株式会社 （連絡先：運行課 電話：096-325-8244）